

令和3年度

(公財) 海と渚環境美化・油濁対策機構「なぎさの環境基金」助成事業

報告書

小冊子「海の楽しみ&海の危険」の作成

報告者：琴引浜鳴き砂文化館(京都府京丹後市)
館長/田茂井秀明

令和4年2月14日

1.事業目的

安全に海岸清掃やビーチコーミングを行うための知識と、危険な人工漂着ごみをしることで、改めて海の環境保全の大切さを学ぶ機会にして頂くため。

2.事業内容

小冊子の制作「浜辺の楽しみ&浜辺の危険」
A5判・16頁・カラー 部数500冊

制作にあたり、琴引浜ネイチャークラブハウスの安松貞夫先生と京都府農林水産技術センター海洋センターの
研究員の方へのヒアリングを実施しました。また、危険生物の写真を新潟市水族館マリンピア日本海様から海
底清掃の写真を京都府漁業協同組合様などから提供頂きました。

「浜辺の楽しみ&浜辺の危険」の内容
コンセプトン訴求

- 1 浜辺に出かける前の準備と注意
- 2 浜辺の危険物を知ろう
 - ・危険な人工漂着物
 - ・危険な生物
 - ・プラスチックごみ、マイクロプラスチック問題
- 3 地域のビーチクリーンアップ活動と学習会
 - ・はだしのコンサート
 - ・漂着物ワークショップ
- 4 今後に向けて
 - ・浜辺を楽しむために
 - ・渚は幼魚の保育所
 - ・漁業者の清掃活動





3.制作期間：令和3年7月1日(水)～令和4年1月31日(土)

4.配架先：地域宿泊施設及び全国鳴き砂ネットワーク加盟団体 他

5.総括

海の清掃活動が盛んになる中、案外危険な人工漂着ごみについて周知されていないのでは、という思いがこの冊子を制作しようと思ったきっかけでした。

当初は海の専門家、水産技術センターや漁業従事者の方々の講演（出前語らい）を依頼したうえで、冊子をまとめるつもりでしたが、コロナで講演を開催することが難しい状況となりました。緊急事態宣言後、改めて開催つもりでいたのですが、緊急事態宣言解除後、様々な事業が一斉に動きだし、各方面の調整が難しく断念した次第です。

結果、海洋センター様や漁業従事者様へのヒアリングと提供頂いた資料をもとに、冊子制作を進める形となりました。監修をお願いしていました“琴引浜ネイチャークラブハウス”の安松貞夫先生からは、危険物以外にビーチクリーンアップ活動と学習会の内容も含め浜辺の楽しみも盛り込んでとアドバイスを頂き、また海と渚機構様からは漁業者による海岸・海底ごみ回収などの情報も頂き、編集させて頂きました。

サイズはA5判で実際の活動に持ち歩きして頂けるよう小さなサイズに仕上げました。プラスチックごみ問題が広まる中、琴引浜で清掃活動をされるボランティア団体をはじめ教育旅行として訪れ海の清掃を体験される多くの方々に一読して頂き海の環境保全の意識を高めて頂ければと願っています。

令和2年度はパネル制作で、令和3年度は冊子制作という形お世話になりありがとうございました。本来なら何らかのイベントを開催するために補助金を頂くものかと思いますが、このような紙媒体の制作費として基金を利用させて頂いたことに深く感謝をいたします。

今後も海の環境保護の重要性を多くの方に伝えていきたいと思っています。